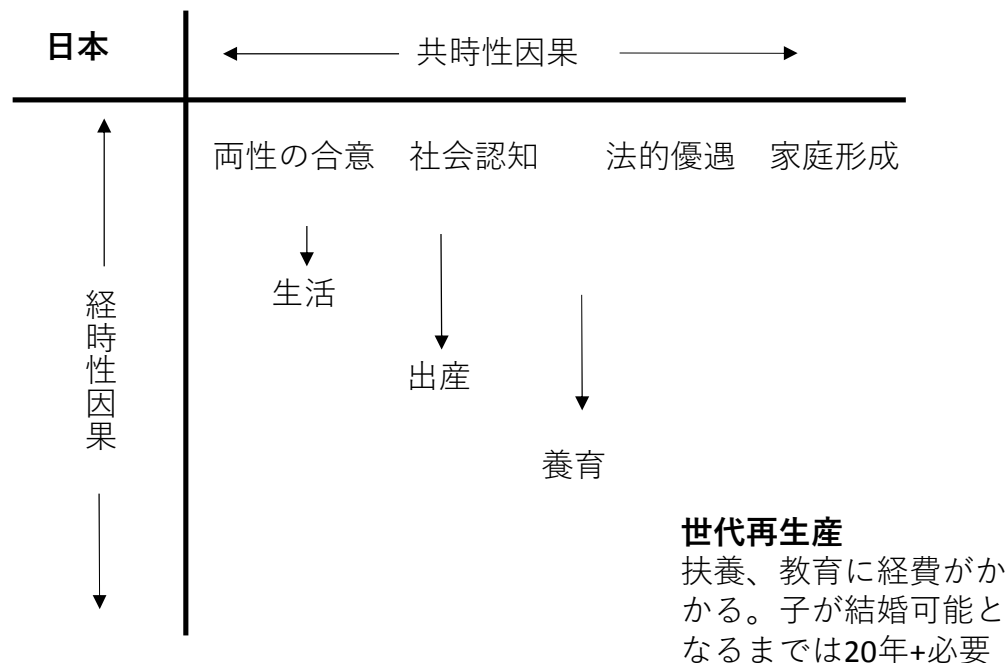
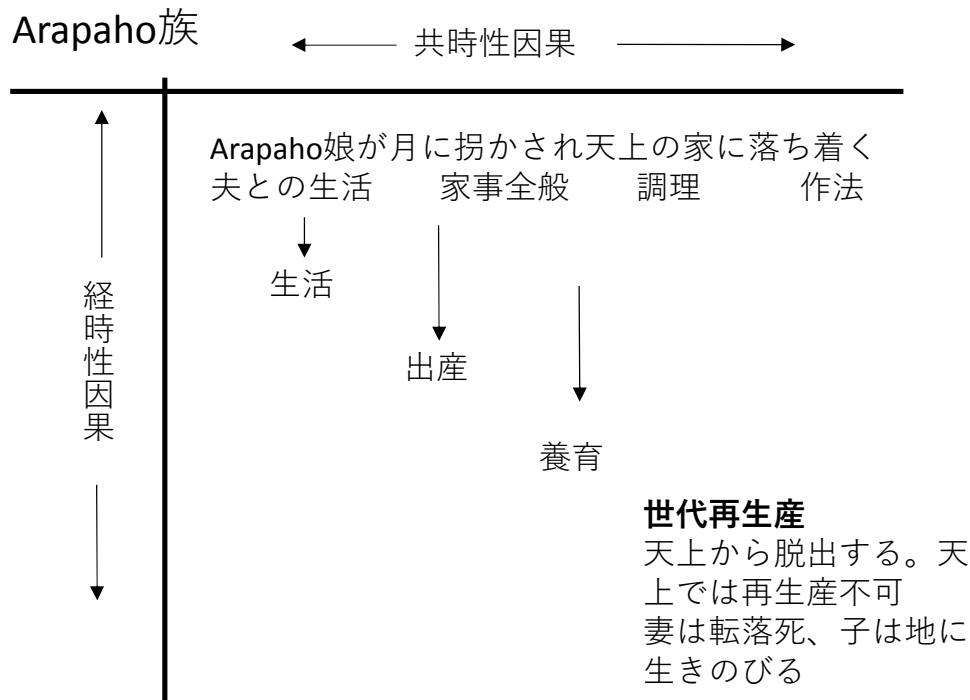


# 結婚、世代の再生産パラダイム

## 月の嫁神話（Arapaho族）と現代日本

**月の嫁神話** 北米Arapaho 族の言い伝え（レヴィストロース著、食事作法の起源、神話番号M428より）；  
 嫁は分娩の直前、大あわてで姑に助けを求める。無事出産となるが、舅の小言「犬猫ではあるまいし、月の障りがなくなって10月経てば子が産まれると知れ」「いつその原因があったかを遡れるだろう」とも。  
 夫（月）は天空周遊で家に帰るのは月に一度だけ。



**両者とも最終目標を世代再生産に置く**

- 1 再生産の「核」の形成（共時性因果）
- 2 因果（核）の維持、育成
- 3 再生産の促進

両性でなければ形成、維持できない  
 生物的差違を社会制度に取り込み、再生産活動を促進した（人口を増やす仕組み）